



JAしまねびより

特集 | 第9回通常総代会

JAしまね国消国産CM放映中!



2023

JAしまね第9回通常総代会を6月25日(日)、
浜田市の石央文化ホールで開催しました。



今年で第9回を数える通常総代会を6月25日(日)、
浜田市の石央文化ホールで開催しました。

4年ぶりの通常開催となり、当日は、総定数
1,000人(欠員23人)に対し、956人(書面議
決を含む)が出席。議長団に、足野隆二総代(雲
南地区本部)、向濱樽幸総代(隠岐どうぜん地区
本部)の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、
要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業
計画など全議案が可決承認されました。

石川寿樹組合長は「令和5年度は、米国の急激な金利上昇の影響を受
けた農林中央金庫の決算悪化による還元減少や電気料金の高騰など、前
年度と比較すると約5億円の収益減が見込まれる中ではあるが、役職員
一体となって頑張っていく所存だ。JAの使命はなんと言っても農業振
興を実践すること。そのためには盤石な経営基盤の確立が必要であり、
引き続き改革を進めていく。さらに、5年度からは新たに『自動車燃料
事業の県域会社化検討プロジェクト』『ホームセンター連携検討プロジェ
クト』『しまねの米粉・有機農業検討プロジェクト』の3つの検討プロジェ
クトにも取り組んでいく」とあいさつしました。

また今回、食料安全保障の強化に向けた食料・農業・農村基本政策の
確立に関する特別決議が、満場一致で採択されました。

今後、この決議に基づき、政府・与党に対し、食料・農業・農村基本
法の見直しや生産資材高騰対策、食料安全保障対策予算の確保など食料
安全保障の強化に向けた食料・農業・農村基本政策の確立を求めるとと
もに、「不断の自己改革」を通じて農業生産基盤の確立や経営基盤の強
化を進めていきます。さらに、食と農や国産農畜産物の適正な価格形成
の実現に向け「国消国産」をキーメッセージに、消費者・事業者などへ
理解醸成・行動変容を促す取り組みを展開していきます。



議長団 足野隆二 総代(左) 向濱樽幸 総代(右) 石川寿樹 代表理事組合長

**食料安全保障の強化に向けた食料・農業・農村基本政策の確立
に関する特別決議(案)**

世界的な気候変動等による食料生産の不安定化やロシアによるウクライナ供給に起因した様々な影響により、穀物や肥料・飼料原料などを過度に輸入に依存しているわが国の食料安定供給リスクが顕在化しており、生産資材価格が高止まりする一方、国産農畜産物は、生産コスト増高分の価格転嫁がすすみます。生産現場では危機的な状況が続いている。

このようななか、政府・与党は、今後数十年の農政を方向付ける食料・農業・農村基本法の見直しに向けた検討を開始し、昨年末には「食料安全保障強化政策大綱」を策定した。

JAグループとしては、政府・与党に対し、食料・農業・農村基本法の見直しをはじめ、生産資材高騰対策や食料安全保障対策予算の確保など、食料安全保障の強化に向けた食料・農業・農村基本政策の確立を求めていく。

一方、「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」であるJAグループは、「不断の自己改革」に全力で取り組むことを通じ、農業生産基盤の確立、地域・組織・事業基盤の確立、経営基盤の強化をすすめる。

さらに、安全・安心な国産農畜産物を安定的に供給するというJAグループの使命を果たすとともに、わが国の食と農に対する国民理解の醸成と国産農畜産物の適正な価格形成の実現に向け、「国消国産」をキーメッセージに、消費者・事業者等への理解醸成・行動変容を促す取り組みを強力に展開する。

以上、決議する。

令和5年6月25日
第9回 島根県農業協同組合 通常総代会



第9回

通常総代会特集

令和4年度 事業報告

JAグループにおいては、引き続き「不
断の自己改革」に全
力で取り組むことを
通じ、農業生産基盤

を拡大・収束を繰り返すなかでウィズコロナへ行
動様式が移行するなか、景気は緩やかに持ち直
しが続いていました。しかし、ロシア軍による
ウクライナ侵攻以降、国際情勢の緊迫、加えて
急激な円安が進んだことにより、肥料・飼料を
はじめとした資源価格は高騰を続け、農業経営
に深刻な影響を与えました。

鳥根県内の経済においては、ウィズコロナの
下、個人消費や雇用情勢等持ち直しつつあり、
全体的に回復基調の兆しが見受けられますが、
国際情勢等を踏まえた為替や物価の動向、再度
のコロナ感染症拡大等のリスクについて、引き
続き注視していく必要があります。

農業情勢においては、5月から6月にかけて
の降雹被害、7月・8月の全国域の大雨被害、
9月の台風被害、1月には大雪被害等により、
各地で農産物・農業施設等に甚大な被害をもた
らした他、10月には



山根盛治 代表理事副組合長



日高光弘 代表理事専務

の確立、地域・組織・事業基盤の確立、経営基
盤の強化をすすめるとともに、わが国の食と農
に対する国民理解の醸成と国産品の確立に向
けた取り組みをすすめました。

こうした状況の中、令和4年度は、「第3次
農業戦略実践3カ年当農計画」の初年度として、
鍵となる園芸振興、担い手確保・育成、また営
農指導と経営指導を通じた農業者の所得増大、
農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しまし
た。

取組みの結果、販売品販売・取扱高が38
0億42百万円、購買品供給高が330億18百万
円、貯金残高が1兆98億74百万円、貸出金残高
が2,819億39百万円、長期共済保有高2兆
9,059億21百万円となりました。また、財
務状況の安全性を示す指標である自己資本比率
は13・30%とな
りました。

収支面につい
ては、事業利益
が2億35百万
円、経常利益は
16億5百万円と
なり、当期剰余
金は8億22百万
円となりました。

貯金残高	1兆98億74百万円
貸出金残高	2,819億39百万円
長期共済保有高	2兆9,059億21百万円
自己資本比率	13.30%
事業利益	2億35百万円
経常利益	16億5百万円
当期剰余金	8億22百万円
販売品販売・取扱高	380億42百万円
購買品供給高	330億18百万円

【議案】

- 本総代会にて付議した議案は次のとおりです。
- 第1号議案 令和4年度事業報告及び剰余金処分案について
 - 第2号議案 令和5年度事業計画の設定について
 - 第3号議案 定款及び定款附属書総代選挙規定の一部変更について
(特別決議案)
 - 第4号議案 子会社の設立及び出資について
 - 第5号議案 子法人の設立及び出資について
 - 第6号議案 西ノ島町特定地域づくり事業協同組合への加入について
 - 第7号議案 令和5年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
 - 第8号議案 令和5年度における理事の報酬額の決定について
 - 第9号議案 令和5年度における監事の報酬額の決定について



財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区分	項目	第8事業年度(令和3年度)	第9事業年度(令和4年度)
財 務	事業利益	575	235
	経常利益	1,901	1,605
	当期剰余金	675	822
	総資産	1,138,905	1,114,893
	純資産	78,694	76,196
信 用 事 業	貯金	1,011,169	1,009,874
	預金	576,348	553,660
	貸出金	279,400	281,939
	有価証券	147,067	143,308
	国債	52,865	52,945
	その他の債権	94,201	90,363
共 済 事 業	長期共済保有高	3,045,745	2,905,921
	短期共済新契約掛金	9,054	8,951
購 買 事 業	購買品供給高	28,557	33,018
販 売 事 業	販売品販売・取扱高	38,252	38,042

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 購買品供給高及び販売品販売高は総額で記載しており、損益計算書における金額とは一致しません。

令和4年度(第9事業年度)剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	1,976,105,424
2. 剰余金処分量	1,406,593,315
(1)利益準備金	165,000,000
(2)任意積立金	1,000,000,000
教育研修充実積立金	100,000,000
BIS規制強化対応積立金	100,000,000
経営安定化積立金	100,000,000
経営基盤強化積立金	600,000,000
施設等更新積立金	100,000,000
(3)出資配当金	210,339,918
(4)事業分量配当金	31,253,397
3. 次期繰越剰余金	569,512,109

- [注] 1 出資配当金は年1.0%の割合である。
 2 事業の利用分量に対する配当の基準は、令和4年7月から令和5年3月までの肥料の供給高に対し2%の割合とする。
 3 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額41,115千円と、地区本部業績還元のために充てるための繰越額50,000千円が含まれている。

組合員数

(単位：組合員数)

資格区分	前期末	当期増加	当期減少	当期末		
正組合員	個 人	59,448	511	2,477	57,482	
	法人	農事組合法人	246	3	4	245
		その他の法人	248	16	6	258
		計	59,942	530	2,487	57,985
准組合員	個 人	158,299	2,114	4,680	155,733	
	農業協同組合	-	-	-	-	
	農事組合法人	18	-	1	17	
	その他の団体	1,784	16	83	1,717	
	計	160,101	2,130	4,764	157,467	
合 計	220,043	2,660	7,251	215,452		

出資口数

(単位：口)

資格区分	当期首	当期増加	当期減少	当期末		
正組合員	個 人	15,480,475	227,613	651,948	15,056,140	
	法人	農事組合法人	27,719	531	238	28,012
		その他の法人	30,137	693	1,625	29,205
		計	15,538,331	228,837	653,811	15,113,357
准組合員	個 人	5,885,592	277,838	285,370	5,878,060	
	農業協同組合	-	-	-	-	
	農事組合法人	1,468	11	11	1,468	
	その他の団体	90,211	299	3,217	87,293	
	計	5,977,271	278,148	288,598	5,966,821	
処分未済持分	146,874	136,552	146,874	136,552		
合 計	21,662,476	643,537	1,089,283	21,216,730		

摘要：(1) 出資一口金額 1,000円
 (2) 当期末払込済出資総額 21,216,730,000円

令和4年度 主な事業活動と成果

令和4年度は、「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度として、鍵となる園芸振興、担い手確保・育成、また営農指導と経営指導を通じた農業者の所得増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

販売事業

米穀は令和4年産の島根県における水稻の作況指数が101（前年100）となり、主食用の収穫量は83,600 tで、前年産比2,400 tの減となりました。また、4年産米の集荷数量は令和5年3月末現在で33,900 tとなり、出荷契約に対する集荷進捗は94.9%、前年対比では96.3%となりました。

園芸

島根ぶどうは継続的にSNSを活用した消費宣伝を行ったことや、高単価の早い時期への出荷誘導を行い、デラウェアについてはkg単価において過去最高を更新する1,423円（税別）となりました。島根ぶどう全体では、シャインマスカットが大きく伸びたこともあり、14年ぶりに販売金額20億円を達成することが出来ました。玉ねぎは、広域調製保管施設の稼働開始に伴い、面積拡大、販売額の大幅な増加につながりました。西条柿は、生産者と共に3年ぶりとなる量販店での販売促進に取り組みました。



畜産

コロナ禍による外食産業を中心とした消費減退や円安の影響を受けた飼料価格高騰など自助努力で回避できない大きな問題が次々と畜産経営に影響を与えるなか、生産者組織・関係機関と共に畜産物の消費拡大と、購買者誘致・肉質データ提供による有利販売等販路拡大に取り組みました。

第12回全国和牛能力共進会では第6区総合評価群肉牛群で1位、併せて特別賞「脂肪の質賞」を受賞し種牛群との総合評価で全国3位を獲得した他、肉牛群の第7区・第8区でそれぞれ優等賞2席を獲得し、肉牛群出品全3区において好成績を収めました。また、特別区では島根県代表として出場した県立出雲農林高校は総合成績で優等賞5席、併せて特別賞「顔品賞」を受賞しました。オール島根で臨んだ今大会では肉牛群を中心として好成績をおさめることができました。

酪農に関しては、乳業メーカーとの乳価値上げ交渉について指定生乳生産者団体である中国生乳販連（中国生乳販売農業協同組合連合会）を通じて行き、生乳1kg当り15円の要求に対し、令和4年11月から10円/kgの回答を了承しました。



資材

肥料・農薬については、昨年に引き続き肥料統一銘柄7品目、農薬統一銘柄8品目を継続して選定し、品目集約による価格低減を図り、組合員へ還元しました。また、価格低減となる担い手直送超大型規格農薬の普及に取り組みました。なお、肥料・飼料価格高騰を受け、JAしまね独自による「肥料・飼料高騰対策」を実施し、農家支援を行いました。

農機事業

JAと全農共同出資の県域会社設立に向け、全農及び地区本部、子会社と協議を進めました。

信用事業

貯金の大宗を占める個人貯金については、総合事業体であるJAの特性を活かし、「しまね和牛」をプレゼントするキャンペーンを実施し、農畜産物消費拡大、農家所得の向上に取り組みました。貸出金については、コロナ対策及び原油や飼料・肥料等の価格高騰対策として、「令和4年度新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰等対策資金（県制度資金）」の取扱いを開始し、自然災害対策としては「令和4年3月暴風農業被害対策資金（県制度資金）」「令和5年1月大雪農業被害対策資金（県制度資金）」の取扱いを開始し、影響を受けられた農業者の支援に取り組みました。



共済事業

担い手経営体や個人農業者に対し、農業経営に関わる様々なリスクへの診断を行う「農業リスク診断活動」に取り組むとともに、「JAしまねこども倶楽部」を通じた子育て支援や次世代との繋がりづくりに努めました。

くらしの活動

コロナ禍での活動制限が少しずつ緩和されるなか、豊かなくらし・地域づくりを目的とし、「食と農に関する活動」「地域貢献活動」「支店ふれあい活動」を三本柱に地域活性化の核となる取り組みとしてすすめてきました。また、家の光・日本農業新聞等の教育資材を活用し、研修や学習活動を実施しました。



令和5年度 事業方針

指導事業

農業振興

「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の第2年度目として、初年度の成果と課題を踏まえ施策に修正を加えながら、「農業者の所得拡大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に繋がる目標の達成に、全力で取り組みます。

持続可能な地域農業を実現するため、中核的担い手や新規就農者、多様な農業者に対して積極的な支援活動を通じ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指すとともに、「みどりの食料システム戦略」を推進します。

重点実施事項

- ① 次世代総点検運動の取り組みと地域の担い手育成
- ② 担い手経営体の経営課題に対応した農業経営支援
- ③ JAの総合力を発揮した事業承継支援の実施
- ④ 農作業等の安全・安心対策
- ⑤ インボイス制度導入に係る部門(品目) 横断的な情報発信
- ⑥ 営農指導・生産振興での生産者貢献
- ⑦ 農業振興支援事業の実施

- ⑧ 島根県産農畜産物の安全・安心への取り組み

農業労働力確保対策

- ⑩ 将来にわたって持続・発展する島根農業を可能にするスマート農業の推進

くらしの活動

活動の理解促進、女性部・青年組織・支店ふれあい活動などと連携した活動の展開や教育文化活動の場づくりに努めます。豊かでくらしやすい地域づくりのためのふれあい活動として、「食と農に関する活動」「地域貢献活動」「支店ふれあい活動」を三本柱とする「JAしまねくらしの活動」に取り組み、活動を通じた組合員・地域住民の連携強化によって地域活性化を促し、持続可能な「地域・組織・事業基盤の確立」を目指します。

販売事業

農業戦略実践3カ年営農計画に掲げた「持続可能な地域農業の実現」に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

購買事業

生産資材

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、物流改革や資材店舗改革等による効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

生活購買

組合員・地域住民の暮らしを支援し、地域の活性化に貢献するとともに、事業の効率化とサービスの充実に努め、「安心」と「満足」を感じていただける事業展開を行います。

信用事業

持続可能な島根の農業と、豊かでくらしやすい地域共生社会を実現するため、JAしまねの総合事業を活かしながら、貯金、貸出金といった生活基盤を支える事業を中心に様々な相談機能やコンサルタント機能を提供し、農業・くらし・地域に寄り添う金融仲介機能を発揮します。

共済事業

組合員・利用者に「寄り添い」、包括的な安心を「届け」、地域農業・

地域社会とより広く・深く・長く「繋がっていく」ことにより、組合員・利用者への「安心」と「満足」を提供します。併せて、新たな生活様式への対応を加速させ、組合員・利用者一人一人のニーズに応じた事業活動を実践し、事業環境の変化に適切に対応した事業展開と地域農業・地域社会への貢献に取り組みます。





功労者表彰名簿 〈令和4年6月退任の皆様〉

第9回通常総代会開催にあたり、島根県農業協同組合の役員として運営、発展等にご尽力を賜りました退任役員の皆様方を讃え、功労者表彰を行いました。

表彰者名	在任時の役職	選出地区等	表彰者名	在任時の役職	選出地区等
高木 賢一	(代表理事専務)	本店	立脇 渉	(理事)	出雲
石川 薫	(常務理事)	本店	伊藤 篤男	(理事)	出雲
有田 吉弘	(常務理事)	本店	永瀬 のり子	(理事)	出雲
佐々木 孝子	(理事)	本店(女性)	山崎 辰次	(常務理事本部長)	石見銀山
栗原 令	(常務理事本部長)	くにびき	山田 康司	(理事)	島根おおち
田中 鈴夫	(理事)	くにびき	中束 多久夫	(理事)	いわみ中央
多久和 宏	(理事)	くにびき	中島 重秋	(理事)	西いわみ
伊藤 精一	(常務理事本部長)	やすぎ	青木 和憲	(理事)	西いわみ
根来 茂樹	(理事)	やすぎ	名原 佳宏	(代表監事)	
新田 昭喜	(理事)	雲南	青砥 正幸	(常勤監事)	
石原 公夫	(理事)	雲南	田尻 宏	(常勤監事)	
澤田 秀樹	(理事)	雲南	岡 睦夫	(監事)	
新谷 徳昭	(常務理事本部長)	隠岐どうぜん	川 神 守	(監事)	
岡田 達文	(常務理事本部長)	出雲	山川 博司	(員外監事)	
福島 隆	(理事)	出雲	奥原 展芳	(執行役員本部長)	くにびき

第9回総代会 Q & A

Q1 営農指導体制について、JAとしてどこまで取り組む考えなのかお聞きしたい。

A 農家へできるだけ早期に、どの地区本部の指導員でも県域重点施策を中心に農業経営への有益な技術情報を与えられるよう、スキルアップのための指導員研修を重ねていきます。また、大きな産地形成に向けた、地区本部をまたいだ効率的な指導ができるよう、スキルの高位平準化を図っていきます。

Q2 農機事業を子会社化すると、農機具の価格や全農手数料はどのようになるのか。また、他の農機具店では土日完全に休みにしているところがあるが、春と秋の繁忙期でも今後はJAも休みにするのか。

A JAと全農が一体となることで、全農手数料は効率化が図れると想定しています。また会社組成後は、JAと全農、新会社で「農機事業経営委員会」を設置し、農機事業運営については、引き続き一定の関与をすることとしており、事業の効率化や技術力の向上を含む人材育成、また価格はもとより質の高いサービス提供で組合員に満足いただける事業となるよう取り組んでまいります。繁忙期の対応は、これまで通り対応することとしています。会社化によりサービス低下とならないよう三者でしっかり検討します。

Q3 農機事業について、小規模農家にも活用しやすいリースやレンタル事業を始めてみてはどうか。コスト低減になり、新たな担い手確保にもつながるのではないかと。

A 小規模農家でも継続的に農業に携われるよう、中古農機の活用やレンタル、リース事業について、全農とともに検討を進めます。

Q4 雲南地区本部の店舗再編について、事業計画案の修正が行われたが、経過と今後の予定について伺いたい。

A 雲南地区本部の店舗再編は、地区本部での協議、理事会決定を踏まえ、事業計画に盛り込みましたが、該当地区への説明、合意形成が不十分であったと判断し、事業計画案の修正を行いました。今後は、取り組み経過も踏まえ、一層慎重な議案の取扱いに努めます。また、雲南地区本部の金融機能の再編を含む経営改革の問題は、本店と地区本部が一体となったプロジェクトを組成し、対策を協議します。地域・利用者の皆さまへの説明、話し合いにも十分留意しながら検討を進めてまいります。

Q5 JAしまねの本店は、松江市の「島根JAビル」を間借りしているという想定で質問する。統合して10年経とうとしており、厳しい経営状況が続くと思っているが、本店の移転や設立等について、現状や計画等があればお聞かせいただきたい。

A 現在入居している「島根JAビル」は竣工以来58年が経過しております。令和3年度に検討を行い、新築や移転は行わず修繕・補強を施しながら、少なくとも10年間は入居することといたしました。

この他にも幅広くご意見をいただきました。



©よい食P



想いをひとつに✿ しまねの女性部!

JAしまね女性部

令和5年度は、JA女性組織3カ年計画「JA女性 想いをひとつに かなえよう」の実践2年目です。

つなごろうみ まもろうみ かかわろうみ

の3つの具体的目標を掲げ活動します。



活動体験発表をする今岡さん



役員改選を経て、新たなメンバーで女性部を盛り上げていきます

リーダー研修会
当日の様子は
こちらから📺📺📺!



「つなごろうみ（仲間と・地域と・他組織と・次代と）中四国地区JA女性組織リーダー研修会」の実施

7月6、7日に開催し、中四国9県から213人の女性部員や関係者が参加しました。JA女性組織活動体験発表では、各県の代表者9人から出雲女性部の今岡千恵子さんが最優秀賞に選ばれました。今岡さんは来年1月に開かれるJA全国女性大会に出場されます。

「まもろうみ（食を・農業を・地域を・自分や周りの健康を）JAしまね女性部統一行動「米一握り運動」の実施

女性部が中心となり、島根県内のフードバンク・子ども食堂等への支援を行います。

「かかわろうみ（農業と・JAと・生産者・消費者と）JAしまね支店ふれあい活動・JAしまね女性部統一行動「おもてなしプロジェクト」の実施

女性部とJA役職員が協力しながら支店の美化活動を中心に、来店したくなる支店づくりを行います。

ここで紹介した以外にもさまざまな活動を計画しています。

今年度は「Withコロナ時代における新たなJA女性組織の活動指針」に則り、感染症対策やWEB等の活用を通じて、これまでの取り組みも大切にしながら、新しい時代の女性組織活動の実践を進めていきます。



一所懸命青年連盟

JAしまね島根おおち青年連盟

JA YOUTH

つきやま まさゆき
月山 正幸さん



地産地消に取り組み、
農業を通じて、
地域に貢献して
いきたい

JAしまね島根おおち青年連盟（以下、農青連）に加入している月山正幸さん（49）は、地元邑南町で露地野菜（トウモロコシ、ケール、広島菜、高菜、キャベツ、エゴマ、もち麦）などを中心に栽培しています。17年間JAの営農指導員として勤務し、13年前に退職しました。その後、家族で「株式会社 有機ファーム 研久屋」を立ち上げました。

「農家という『経営者』になりたい」という思いから、転職を決定し、今では「農家を支える農家」と言われるほど地域に無くてはならない存在です。地元では広域的に農薬のドローン散布を請け負い、地域の農業を担っています。また、今でもJAとの繋がりが強く、夏の繁忙期になると米検査員として活躍しています。農青連では副委員長を務め、子どもたちに「食育を教える」をモットーに青年活動へ積極的に参加しています。

月山さんは「今後は、今まで培ってきた知識を次世代へ繋ぐこと、地域の農地を守っていくことを目標に営農活動に従事していきたい」と熱く語りました。

農機事業からのお知らせ

農機事業の県域一体化構想に基づき、JAしまねと全農の共同出資により新会社が7月3日に設立されました。

新会社の名称は、「JA全農島根農機サポート株式会社」となります。この新会社での事業開始は令和5年11月を予定しています。

現在の農機センターや子会社事業所は、新会社の営業所やサービスセンターとなりますが、引き続き組合員の皆様の農機サービス拠点として営農支援に努めてまいります。

今後とも変わらぬご愛顧をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

【会社概要】

名称：JA全農島根農機サポート株式会社

本社：松江市宍道町佐々布19-1

営業所：地区本部の農機センター、農機子会社本社が営業所となります。

社員：現在の農機担当者が引き続き新会社で農機事業を担ってまいります。

【秋作業を控えて】

コンバイン等収穫用機械の点検はどうされていますか。昨年作業後の格納点検は実施されましたか。

収穫作業は天候に大きく左右されます。作業中の故障を未然に予防するために、作業前にはもう一度取扱説明書をよく読んでいただき使用前・使用後の日常点検を実施しましょう。

不明な点がありましたら、最寄りのJA農機センターへお問合せください。



理事会情報

（6月21日開催）【協議事項】

- ①雲南地区本部 店舗統廃合問題の今後の対応について

（6月30日開催）【協議事項】

- ①宍道湖西岸地区農地整備事業の営農推進に係る中国四国農政局整備事業所とJAしまねの協定締結について
- ②信用事業方法書（為替取引）の一部改正について
- ③第9事業年度業務報告書について
- ④子会社等への役職員の推薦及び派遣について

- ⑤西いわみ地区本部 益田東支店等の借地契約満了に伴う土地の取得について
- ⑥約定利息全額免除について
- ⑦理事（常勤・非常勤）と組合の取引について
- ⑧組合と理事との取引（契約）の承認について（都度承認分）
- ⑨常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑩理事の個別役員報酬額の決定について
- ⑪執行役員の個別報酬額の決定について
- ⑫役員賠償責任保険への加入について

島根おおち地区本部 総代説明会

6月16日(金) 第9回島根おおち地区本部総代説明会を、
 邑南町田所公民館にて開催いたしました。

○事業報告

第3次中期経営計画の初年度として、引き続き「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目標に掲げ、創造的自己改革の実現に向けて、事業改革に取り組んでまいりました。

水稻については、特別栽培米「石見高原ハーブ米コシヒカリ・きぬむすめ」「つや姫」を中心に販売に結びつけた米づくりに取り組み、農業者の所得増大を目指しました。

園芸品目については、水害リスクを避ける品目として取り組んでいるタマネギの、植付・収穫機械の導入を図るとともに県域タマネギ調製施設の活用により、栽培面積が375aに拡大しました。



施設園芸では、ぶどう新品种「神紅」の導入と産地化に向け、国、県および邑南町の補助事業を活用し、ぶどうリースハ

ウス事業に継続して取り組みました。肥育センター事業では、事業譲渡を前提とした事業継承者公募に取り組み、事業継承候補者を決定しました。

購買事業では、肥料価格高騰対策として、低コスト肥料品目提案による主要肥料の予約価格低減を行い、農家の所得向上に取り組みました。

生活購買では、営農部と連携し農業者の所得増大を目的に、管内の農畜産物・加工品を贈答品「旬のふるさと味覚便」「味の絆」として販売拡大に努めました。

給油所では、農繁期に正組合員メリットとして、農業経費削減を目的とした農業用燃料の正組合員特別価格を設定し実施しました。

信用事業では、管内の支店機能の見直しを行い、持続可能な支店経営を目指し、7支店のうち4支店を効率化店舗とする体制に変更しました。

共済事業では、渉外担当者を統括支店配置に変更し、統括支店と渉外担当者の連携を密にした上で、より質の高いサービスの実現を図りました。

島根おおち地区本部の最終決算状況は、事業利益1千213万円、経常利益1億561万円、当期剰余金7千806万円でした。

総代説明会



6月16

Q 生産資材等の価格について、統合から8年経つものの未だ県下統一されていない。独立採算制の影響なのか。10年を目標に価格の統一に向け検討を進めていただきたい。

A J A しまねとして「一物一価」取り扱う商品が同じ品物であれば価格は統一すべきところですが、特に資材関係については価格統一ができていない状況です。独立採算制による運用は統合当初からの考え方で、物流体制が県下統一されていないなかで地区本部独自の物流経費が価格に反映していることが大きな要因であり課題として捉えています。今後は、農機事業の子会社化、また自動車燃料事業の会社化、ホームセンターとの連携等について検討を進め、すべての商材の価格統一を目指し事業改革を進めます。

Q 米の買取価格について、出荷時にかかる検査料以外の経費は、J A が負担すべきではないか。

A 米の価格については、販売予定価格から販売流通経費、保管料、入出庫料等の必要経費を控除した額で、仮単価・概算払い価格を提示しています。販売を見越した段階で年末に追加金を支払い、販売が完了した翌年

末には販売にかかる経費を考慮し、共同計算のなかで最終精算可能額をお支払いする体制をとっています。

Q 剰余金処分案について、昨年度の業績還元費用の繰入額は1億円であったが今年度は5千万円に減額されている。これは事業分量配当を行うことで減額されたものか。また、事業分量配当金は肥料のみを対象としているが、J A を利用する組合員は、他の品目や事業も利用しており肥料以外も対象としないのか。

A 事業分量配当金は肥料高騰に対する支援策として実施するもので、この実施により業績還元費用を減額するものではありません。この度、業績還元費用に充てる繰入額は、これまでの事業実績に応じた対応として協議し決定したものです。国の肥料・飼料高騰対策制度が始まる前にJ A しまね独自の支援策として令和4年度に1億5千万円の予算立てを行いました。国の制度が肥料価格の3割補填を行うことになり、J A が助成を行った場合、肥料に対する助成金は値引きとして国の3割補填から減額されるの見解に至りました。J A しまねは令和4年3月から6月までの肥料・飼料の供給高に対し助成を行いました。その後、国との協議のなかで決算期の事業分量配当金であれば、補填を認めるとの見解に至り令和4年7月から令和5年3月までの肥料供給高に対し2%の事業分量配当を行うこととしました。



食育イベント

愛菜カレーの日

7月
25日
火



JAしまね島根おおち青年連盟は、女性部員やJA職員らとともに地元産食材のおいしさを伝える食育イベント「愛菜カレーの日」を管内14の保育所(園)で実施しました。

各保育所(園)を訪問しての「愛菜カレーの日」は3年ぶりとなり、島根おおちブランドの「石見高原ハーブ米」、「石見和牛肉」の他、管内産の白ネギ、ピーマンなど10品目あまりの食材を持ち込み、園児と野菜を切ったり、お米を炊いたり、合間には紙芝居を読んだりしてカレーを調理しました。久々の交流に心が躍り、カレーを食べた園児からは「カレーが美味しかった」「野菜を切ることが楽しかった」などの感想やお礼の言葉をたくさんいただきました。

島根おおち地区本部ではこれからも食農教育に注力し、食べ物を作り出すこと、食べることの大切さを伝え「愛菜カレーの日」のみならず有意義なイベントを企画してまいります。



農機拠点センター秋の農繁期対応のお知らせ

期 間 8月26日(土)～9月24日(日)

営業時間 8:30～17:00

※土曜・日曜・祝祭日は営業してあります。

※管内の収穫状況によっては、農繁期対応を早期に終了する場合があります



石見高原ハープ米 きぬむすめ販促活動

7月
22
・
7月
23

島根おちち地区本部は、東京都で開催された「こだわり米産地説明会」に参加しました。北海道、佐賀県など全国8産地が参加し産地の魅力や今年度の作柄、販促状況について産地別に説明しました。島根おちちハープ米生産部会三浦秀樹会長、島根県農業普及員、JA職員がそれぞれの立場から「石見高原ハープ米きぬむすめ」を紹介しPRしました。

なお、説明会前日には取引先である神戸市、名古屋市の米販売店を訪問。「石見高原ハープ米きぬむすめは、なめらかな口当たりとふんわり感じる甘さに人気がある」と評価をいただき自信を深めました。今後、安定生産の継続を目指すとともに「石見高原ハープ米」の魅力や情報をSNSなどで広く発信し需要の拡大を目指します。



関東地域の米販売店約70社を前に産地PRをする三浦会長（左）



米販売店で産地PRをする服部本部長（左）

夏の農機展示会& ミニアグリミーティング

7月
7
・
7月
8

島根おちち地区本部は、邑南町矢上の農機拠点センターにて「夏の農機展示会&ミニアグリミーティング」を開催しました。この催しはTAC職員と農機拠点センターが企画し、生産現場の課題解決に向けて、営農、農業機械の新技术を中心とした情報発信を目的に開催し、約200名の組合員、利用者の皆様にご来場をいただきました。

今年の新たな試みとして脱炭素をテーマに、電動作業機器、電気自動車を用い、災害時での電力供給のデモンストレーションを行いました。

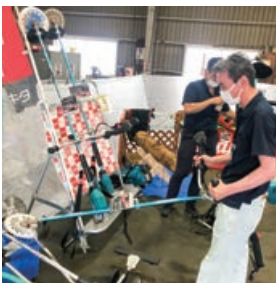
また、鳥獣害対策コーナーでは、イノシシの他、近年被害が増加している鹿対策として、ワイヤーメッシュの設置方法の見直しについてセミナーを実施しました。

また、JA島根厚生連と連携し、気温上昇による農作業中の熱中症対策を啓発。農業機械でもGPS搭載のITスマート農業の紹介や機械導入による省力化の提案を行いました。

JAではこれからも安全・安心・快適な農業に向けて職員一同で支援してまいります。



鳥獣害対策、県専門指導員による説明
TACと一緒に確認



農業×脱炭素コーナーにて
電動作業機を実演



農機担当者がしっかり説明



農作業中の熱中症対策として空調服の軒旋



JA共済、農業融資の相談

地域の伝統芸能を担う 「高校生神楽」を応援!!

島根おちち地区本部とJA共済連島根は、広島県安芸高田市で開催された「第12回高校生の神楽甲子園」に出場した島根県立矢上高校に協賛金を贈呈しました。矢上高校で行われた贈呈式では、服部幸信本部長が同校神楽愛好会代表の石田迪子さんへ激励の言葉とともに目録を手渡しました。石田さんは「愛好会は17名で構成され、八調子神楽を週3回練習している。特に演舞と囃子の呼吸を大切にし、OBにも指導を受け頑張っている。大会では演目「子持山姥」を披露する。日頃の成果を発揮したい」と力強く話されました。

7月
20



ふれあい水田で 生き物調査

7月
16

島根おちちハープ米生産部会（三浦秀樹会長）と島根おちち地区本部は、生活協同組合ひろしまと連携し、邑南町矢上にあるJAふれあい水田で「田んぼの生き物調査交流会」を開催しました。当日は広島県から家族連れ約50名の参加があり、島根県西部農林水産振興センター県央事務所の指導により田んぼの生き物調査を行いました。集まった子どもたちは生き物に興味津々。見つけた生き物で自慢大会のあとは、観察した生き物をしっかりと田んぼに戻していました。



緑肥活用にかかる 研修会の開催

島根おちち地区本部管内にて緑肥活用にかかる研修会が開催されました。島根県農業技術センターでは化学肥料使用量の低減と土壌病害菌密度の低減を目的に、ブロッコリーの作付け前に緑肥を栽培する現地実証試験に取り組んでおり、研修会では緑肥の基礎知識や種類・活用方法などの講義後、邑南町の農事組合法人いいともの圃場にて緑肥の刈り取り作業の実演が行われました。（農）いいとも代表の住田孝重さんは「肥料価格の高騰や土壌病害は栽培に大きな影響がある。緑肥の活用に取り組み、ブロッコリー栽培の継続に繋がりたい」と話されました。

7月
6



TACパワーアップ大会で 最優秀賞!!

7月
13

地域農業の担い手支援活動を行う「TAC」の情報共有とレベルアップを図るため、TACパワーアップ大会が出雲市で開催されました。

大会では、TAC 11名の活動発表が行われ、島根おちち地区本部の原本篤志TACが農作業中の安全指導への取り組みについて発表し「最優秀賞」に輝きました。原本TACは、管内の担い手が農作業中の事故で亡くなった事例から農作業安全講習会の開催や、自作の「農作業安全かわら版」で安全作業意識向上を啓発。また、農業リスク診断活動など、安全に健康で農作業を続けてもらうための取り組みを発表し、11月に開催される全国大会の島根県代表にエントリーされました。



担い手とステッカーを貼り
農作業安全啓発を行う原本TAC



県内受賞TACと原本TAC
(前列左から4番目)

ゆとり倶楽部第3回講座開催

7月
19

島根おうち地区本部は、ゆとり倶楽部第3回講座を開催しました。今回は家の光地方講師の影山和美先生をお招きし、台所でできる草木染めを習いました。先生から「草木染めは、同じ草木でも採取する季節や土地で色合いが変わるものもあり、思わぬ色ができるのが面白い」などと草木染めの醍醐味や手順などを教わり作業に入りました。

まず、タマネギの皮を煮だして染液を作る間に、水洗いした布の数カ所に輪ゴ



黄色（タマネギの皮）・ピンク（すおう）・うす紫（しこん）

ムを使って絞りを作りました。次にその布を濃い茶色に煮だされた染液に浸し、約20分煮て媒染すると色に色づき、それをまた水洗いし、色止めのミョウバン液に浸すと、布が明るい黄色に変化し周囲から「わあ、変わったね」と感嘆の声が上がりました。さらに水洗い、媒染、水洗いを繰り返して、布の縛りを解くと、そこには濃淡の模様が浮き上がり、受講生は「綺麗な色に染まったね」「素敵なお模様がでたね。どう絞った？」など話し「ぜひ家でも草木染めをしてみたい」と大好評でした。



タマネギの皮の染液で媒染中

第3回ケイトウ栽培講習会開催

7月
27

島根おうち地区本部はケイトウ出荷の最盛期を迎え、より高品質なケイトウの出荷を目指し、第3回ケイトウ栽培講習会（出荷目合わせ会）を石見事業所で開催しました。

講習会では営農部上田理央指導員が収穫までの病害虫防除、葉色を見ての施肥調整、収穫適期の目安、収穫後の管理を説明。益田佑一指導員が花径、丈などの出荷規格、束本数、丈調整、下葉の整理など出荷調整と害虫の潜伏がなかなど最終チェックのポイントおよび出荷スケジュールを説明。最後に全体を通して質疑応答がされ、「不明な点はぜひお気軽にお問い合わせください」と呼び掛けました。



講習会での様子



講習会後の戸別訪問の様子

全国サンマッシュ西日本支部総会・夏期セミナー

7月
18

出雲市ラピタウエディングパレスにて全国サンマッシュ西日本支部第22回通常総会ならびに夏期セミナーが開催され、島根おうち菌床しいたけ生産者組合から上田文雄西日本支部長をはじめ5名の生産者が参加されました。

総会では上田西日本支部長が「近年の菌床しいたけを取り巻く環境を注視している」と挨拶され、続く夏期セミナーは「品種編」・「技術編」・「情報編」の3部構成で行われ、技術編では近年の燃料、電気代の高騰にかかる省エネ化対策の説明があり、多くの参加者が熱心に話を聞かれました。





水稲

●コンバイン・乾燥調整機の点検と掃除について

間もなく収穫期を迎えるにあたり、コンバインや乾燥調整機類の点検と掃除を実施しましょう。
掃除が十分にできていないと、異物、異品種、コクゾウムシ・メイガなどの貯蔵害虫が玄米に混入する恐れがありますので必ず掃除を行いましょう。

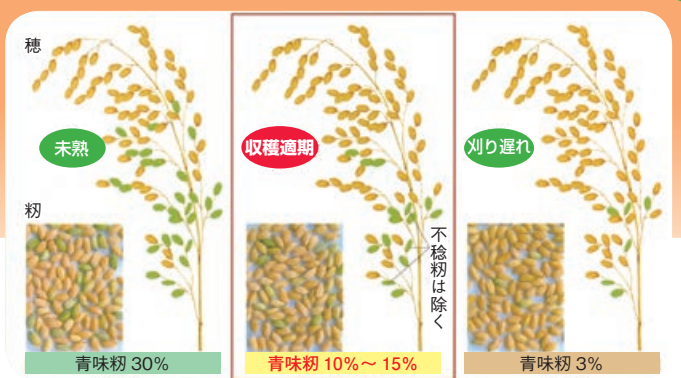
●収穫・調整

出穂してから約40日前後で稲刈りとなります。近年では、高温の影響により収穫時期が早まっておりますので刈り遅れとならないよう注意しましょう。

適期刈り取りで 上位等級を目指そう

※圃場内でバラツキがありますので、平均的な穂を何本か抜き取りましょう。不稔籾を除き青味籾が10%~15%になった時が収穫適期です。

- 葉が緑色の状態でも、穂は十分に熟れている場合があるので、収穫の際は、穂の色を見て刈り遅れとならないよう注意しましょう。
- 収穫の目安は、青味籾が1割~1割5分程度です。



1. 雨や雨降り直後、朝露のある状態での収穫は避けましょう。
2. 生籾をコンバイン袋に入れたまま長時間放置しないようにしましょう（ヤケ米の発生）。
3. 乾燥機へ搬入後、本乾燥を行うまでは通風で管理し乾燥機内のムレを防止しましょう。
4. 籾摺り機のロール間隔を調整し、籾の混入、肌ずれ粒を起こさないよう注意しましょう。
5. **網目は、うるち米（コシヒカリ・きぬむすめ・つや姫）は1.9mm**
うるち米（ハナエチゼン、つきあかり）、もち米1.85mm 酒米2.0mm となります。
6. 米袋の皆掛け重量は30.5kgとなります。

※乾燥の際には、**過乾燥とならないよう十分に注意をしてください！**

●米のトレーサビリティ（生産履歴OCR）の提出について

生産履歴が確認された米について「JAしまね米」として区分販売が行われます。生産履歴の記帳を必ず実施し、履歴の提出をお願いします。

- ①生産履歴OCRを配布しております。
（7月外勤日）
 - ②生産履歴OCRを米の出荷5日前までにJAに提出してください。
- ※ライスセンターをご利用される方は、もみ受入れ前に提出してください。

令和5年度 秋の農繁期対応（JA休業日米受入対応）

【お願い】 ※ JA 休業日の米受入対応は、下記表の○印のみ対応いたします。持込みを希望される方は、事前に営農生活ブロック事業所までご連絡をお願いいたします。事前にご連絡が無い場合は、受入の対応ができないことがあります。

月	8月		9月								10月								
日	26	27	2	3	9	10	17	18	23	24	30	1	7	8	9	14	15	21	
曜日	土	日	土	日	土	日	日	月	土	日	土	日	土	日	月	土	日	土	
受入対応時間	午前中（8：30～12：00）																		
邑南B	瑞穂事業所	○	○			○	○			○	○			○					
	羽須美事業所	○			○	○			○	○		○	○						
	石見事業所	○			○	○			○	○		○	○						
邑北B	川本事業所	JA休業日の米受入対応は行いません																	
	邑智事業所					○				○	○		○			○		○	
	大和事業所	JA休業日の米受入対応は行いません																	
	桜江事業所		○		○		○		○		○		○		○		○		○

【ライスセンターからのお願い】

※インボイス制度の対応について、米穀販売事業では「農協特例」を適用する方針です。ただし、組合員加入をされていない方が出荷した農産物が混在する取引については、制度上、この「農協特例」の適用を受けることができません。ライスセンターをご利用の方は組合員加入をお願いいたします。「農協特例」の性質上、組合員外の方の共同乾燥施設（ライスセンター）のご利用を制限させていただく場合がありますのでご理解いただきますようお願いいたします。
※すでにお知らせしておりますように、ライスセンターでは令和5年度より休業日を導入して業務を行ってまいります。各ライスセンターの休業日は営農生活ブロック事業所およびライスセンターの店頭に掲示しておりますのでご確認の上、ご利用いただきますようお願いいたします。



重点品目野菜について病害虫の予防の徹底を図りましょう!

農薬散布される前には必ず防除日誌を確認し、使用回数等使用基準を厳守!

●白ねぎ

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
8月下旬	アザミウマ類・ネギコガ ネギハモグリバエ	ディアナSC	2,500~5,000倍	収穫前日まで 2回以内
	さび病・べと病 黒斑病・葉枯病	テーク水和剤 ^注	600倍	収穫14日前まで 3回以内
	ボトリチス葉枯症 黒斑病	ロブラール水和剤	1,000~1,500倍	収穫14日前まで 3回以内

注テーク水和剤はジマンダイセン水和剤やモンガリット粒剤等と使用回数が共通のため注意

○ボトリチス葉枯症・さび病は、出荷する葉にも影響がありますので防除の徹底をお願いします。

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
9月中下旬	アザミウマ類・ネギコガ さび病・べと病	ハチハチ乳剤 ^注	1,000倍	収穫7日前まで 2回以内
	ボトリチス葉枯症・黒斑病	ロブラール水和剤	1,000~1,500倍	収穫14日前まで 3回以内

ネギの夏休み後の土寄せは最高気温が30℃下回る時期になって行ってください! (軟腐対策)

●ナス

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
8月下旬~ 9月上旬	ハスモンヨトウ・オオタバコガ	フェニックス顆粒水和剤	2,000~4,000倍	収穫前日まで 3回以内
	うどんこ病・すすかび病	アミスター20フロアブル	2,000倍	収穫前日まで 4回以内
強風等の後	褐色腐敗病	ホライズンドライフロアブル	2,500倍	収穫前日まで 3回以内
		ランマンフロアブル	2,000倍	収穫前日まで 4回以内

※褐色腐敗病は毎年発生しております! 予防を必ず行ってください!!

また、褐色腐敗病対策として、果実の適期収穫を行ってください!!

●ミニトマト

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
9月上旬	オオタバコガ・ハモグリバエ類	プレオフロアブル	1,000倍	収穫前日まで 2回以内
	灰色かび病・葉かび病 斑点病・すすかび病	アフェットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで 3回以内
	灰色かび病・葉かび病 斑点病・すすかび病	ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000倍~3,000倍	収穫前日まで 3回以内

※重要期の9月上旬にむけ、トマトトーンの使用(200倍液)を丁寧に行いましょう。※気温が低下し、日射が弱まる気候になったら「遮光資材」を取り除きましょう。※10日に1回はカキパック等(500倍液)のカルシウム剤の散布をしましょう。

●ピーマン

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率 / 散布量	使用時期・回数
9月上旬	タバコガ類・アザミウマ類	プレオフロアブル	1,000倍	収穫前日まで 2回以内
	うどんこ病・斑点細菌病・斑点病	カスミンボルドー	1,000倍	収穫前日まで 5回以内

※雨が多い時期はヘタの部分の傷みに注意して出荷をお願いします。

※10日に1回はカキパック等(500倍液)のカルシウム剤の散布をしましょう。

●広島菜【8月下旬~9月上旬定植】

【定植の適期は播種後20日!!】 定植が遅くならないよう圃場準備は早めにしましょう。

防除の時期	対象病害虫	農薬名	散布量	使用時期・回数
植付前	根こぶ病	オラクル粉剤	20kg/10a 全面土壌混和	定植前 2回以内

定植時にネキリムシの対策を忘れずに行ってください!!

防除時期	対象病害虫	農薬名	散布量	使用時期・回数
植付時	ダイコンハムシ	ダイアジノン粒剤5	6kg/10a 全面土壌混和	定植時 1回

●ブロッコリー【7~8月定植】

予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率/散布量	使用時期・回数
8月下旬~ 9月上旬	アオムシ・コナガ・ヨトウムシ	ディアナSC	2,500~5,000倍	収穫前日まで 2回以内
	軟腐病・黒斑細菌病	スターナ水和剤	2,000倍	収穫14日前まで 2回以内
	菌核病・黒すす病	シグナムWDG	1,500倍	収穫7日前まで 2回以内
	べと病		1,500~2,000倍	



日時

2023年10月7日(土)
1回目 11:00~ 2回目 14:00~

場所

健康センター元気館
アリーナ

島根県邑智郡邑南町淀原153-1

主催: JAしまね 島根おおち地区本部

問合せ:

瑞穂支店 (0855-83-1131) 羽須美支店 (0855-88-0121)

石見支店 (0855-95-1221) 川本支店 (0855-72-0556)

邑智支店 (0855-75-1220) 大和支店 (0855-82-3131)

桜江支店 (0855-92-1231)

応募期間: 2023年8月4日(金)~9月15日(金)

☆状況により開催内容が変更または中止となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。その場合はJAホームページにてお知らせいたしますのでご確認ください。

※参加ご希望の方は、所定の応募用紙でお申し込みください。応募多数の場合は抽選とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

**参加無料
チケット制**

※所定の場所以外でのカメラやビデオでの撮影はご遠慮願います。

※個人によるトラブルや事故については、主催者は責任を負いかねます。

※交通事情等により中止になる場合がございます。あらかじめご容赦ください。

和牛情報

令和5年7月子牛市場成績表



令和5年7月子牛市場成績表

		頭数	最高価格	最低価格	平均価格
中央市場	メス				
	又キ				
	合計	0	0	0	0
島根おおち	メス	18	727,100	382,800	529,650
	又キ	15	658,900	372,900	544,866
	合計	33			536,566
瑞穂	メス	2	507,100	470,800	488,950
	又キ	2	627,000	548,000	587,950
	合計	4			538,450
羽須美	メス				
	又キ				
	合計	0	0	0	0
石見	メス	3	543,400	476,300	516,267
	又キ	2	517,000	463,100	490,050
	合計	5			505,780
川本	メス	2	530,200	523,600	526,900
	又キ	2	658,900	606,100	632,500
	合計	4			579,700
邑智	メス	8	727,100	382,800	518,650
	又キ	8	599,500	372,900	531,162
	合計	16			524,906
大和	メス				
	又キ				
	合計	0	0	0	0
桜江	メス	3	657,800	531,300	601,333
	又キ	1	502,700	502,700	502,700
	合計	4			576,675

隠岐、西部、中央“続落”

本県7月の子牛市場は、県全市場、隠岐、西部、中央で開設し733頭の取引があり、平均価格は隠岐356,664円(前回比53千円安)、西部501,936円(前回比34千円安)、中央516,947円(前回比20千円安)で、“続落”の取引となりました。

隠岐市場では年3回の開設のため上場牛の月齢、体重にはバラツキがあり、4市場で極端な発育の差がありました。購買者からは、「特に初期、中期飼料のマニュアルを参考にしながら与え、しっかりとした牛に仕上げしてほしい。市場開設月を考慮した繁殖計画も必要」との意見がありました。また、極端に日齢の若い牛については育成期間が長いために、飼料高騰のあおりを受け、大きく価格が低下しました。

西部、中央市場の上場牛は、全体的に発育が良く特に去勢については伸びのある牛に仕上がっていました。一方で発育の悪い牛については、購買意欲が見られず極端な価格低下となり発育の差が価格に顕著に表れ、生産者にはしっかりと飼養管理が求められています。生産者の皆様は日ごろから「購買者にお買い上げいただく大切な商品」と認識を持ってしっかりと飼養管理をお願いします。

枝肉相場においては、相場安を受けて出荷を控えていた生産者がまとまった出荷を行ったことで牛余り状態となっています。加えて、輸出の停滞、中元、盆用需要にも動きが鈍く近年にない厳しい枝肉相場となっています。

要因の一つとして諸物価の高騰による先行き不安からぜいたく品の買い控え傾向による末端の売れ行きが上向かないことがあげられます。子牛出荷者である生産者の皆様はこの厳しい枝肉相場をご理解いただくことも必要ではないでしょうか。和牛肉消費に協力しこの難局を乗り切りましょう。

最近、子牛の肢蹄に係る歩様確認、クレームが発生しています。原因の一つとして、牛舎内の糞が堆積(粗悪な環境)して蹄が柔らかくなり、コンクリートの上を歩くと痛がるようです。牛は経済動物であり人間が生きていくうえで貴重な栄養分を与えてくれる家畜ですが、一方で大切な命を人間に授けている動物でもあります。生まれてから出荷までは牛が過ごしやすい環境を整えるとともに、愛情をもって育ててください。

県外移出率

■雌→60.39% ■去勢→37.04% ■合計→46.76%

島根おおち地区本部



女性部が行く



問い合わせ先 企画総務部 ☎83-1801

桜江支部「地元食材」で料理する

7月
13



島根おおち女性部桜江支部（安原八千子部長）は、桜江町産の食材を使って料理をしました。材料は部員が持ち寄った江の川のアユ、ツガニなどで「あゆめし」、「ツガニの味噌汁」、「桑茶豆乳くずもち」と『家の光』7月号別冊付録から「トウモロコシの青ジソかきあげ」の4品を作りました。「あゆめし」は、オーブンで焼いたアユを丸ごと炊飯し、炊き上がる

と骨を取り、身をほぐしごはんに混ぜ合わせます。「ツガニの味噌汁」は、カニを洗い半分は切り、鍋に水、酒、ツガニを入れてアユを取りながら煮、最後に味噌を混ぜ入れます。どちらも伝統料理、それぞれが持つ香りと旨味がふわ〜と広がる絶品となりました。「桑茶豆乳くずもち」は、桜江町で生産される有機桑抹茶と豆乳を使い、きな粉でいただきます。するりとした喉越しがたまりません。「トウモロコシの青ジソかきあげ」は、青ジソに乗せて揚げるのでバラバラになりにくく、彩りも良くトウモロコシの甘味が広がります。安原八千子部長は「これからも地元食材を使った伝統料理や創作料理を作り、仲間と共有し伝えていきたい」と話されました。



依願退職	退職事由	現部署・役職	職員区分
伊藤 密則	氏名	邑南富農生活ブロック 富農生活課	正職員

1. 退職（令和5年7月31日付）

人事異動のお知らせ

お便り紹介



今月も皆さんからのおたよりがたくさん届いています。ありがとうございます。その他、JAに対するご意見ご要望などもお寄せください。

◇毎号「みーつけた しまねのファーマーズ」を楽しみにしています。今回は特にドイツ人のムラー フランクさんが隠岐の島海士町でがんばっておられる姿に感動しました。やはりおいしい野菜は土づくりからですね。私は専門で農業をやっていますが、土づくりからというのは納得しています。フランクさんがこれからも海士町でがんばられることを期待しています。私もいつか行ってみたいですね。

●雑木林の開墾からの農業。ニワトリ、ヤギの飼育↓有機肥料↓土づくり↓多品種野菜の栽培↓卵、野菜の販売↓無駄がないと感じました。子どもの頃からの夢を海士町で叶えられた事がとても嬉しいですね。「ムラーズファーム」へ行けると良いですね😊

◇日頃からAコープの直売コーナーを楽しみに利用しています。特集を読み、直売所めぐりも地元の旬を感じられ、紹介されたところに行ってみてみたいなあと思えました。

邑智支店管内 Tさん 60代

●直売所めぐり楽しそうですね。観光を兼ねて、美味しい物を食べながら温泉に入って、直売所を楽しむ。ゆっくり、ゆったりと各駅停車のドライブ旅行はいかがでしょうか!! 😊

◇ふれあい農園芋植え交流会は雨が降り、保育園児の参加ができなくて残念でした。晴れて保育園の皆で苗植えができればよかったですね。

大和支店管内 Oさん 80代

●園児の皆さんも楽しみにしていてくれたのにと...とても残念でした。現在、さつま芋は大きくつるを伸ばし順調に育っています。秋には青空の下、にぎやかに芋掘りができればと祈っています!! 🍠

◇一番待っていますのは、しまねうレシピ。今年の暑さは高齢者に本当に堪えます。でも熱中症の予防の注意と、毎食の食事が体を支える基本と思いついて張っています。レパートリーも3食...そうそう目先の変わるものばかり作れません。うレシピは一番の主婦の味方です。今回の2品はとも食べやすく見た目もきれいで思わずハシもすすみました。これからも簡単に作れて体を守ってくれる「レシピ」をお願いします。

邑智支店管内 Kさん 70代

●7月号のレシピは「冷しゃぶトマト和え」と「鶏肉のカレーソテー野菜炒め添え」でした。冷しゃぶは、豚肉、トマト、胡瓜、オクラ、青じそを使い、味付けは大根おろし、醤油、塩、こしょうであっさり!! 鶏肉のカレーソテーは、鶏むね肉、玉ねぎ、しめじ、トマトなどを使い、カレー風味で食欲増進!! どちらも肉と旬の夏野菜を使い彩り良く、夏の栄養補給にピッタリです。みなさんもぜひ作ってみてくださいね!!

JAのお仏壇のリフォーム

職人の技術を駆使した修繕で生まれ変わります。

大切なお仏壇 ご修復しませんか？



▶
修復



修復前



修復後

お見積り無料
お見積り
お問い合わせは
お気軽に！

ご相談・ご注文は
JAしまね各事業所で
承ります。

○瑞穂事業所：83-1134
○邑智事業所：75-1861
○桜江事業所：92-8025

○羽須美事業所：88-0121
○大和事業所：82-2557
○総合生活課：95-3601

○石見事業所：95-1224
○川本事業所：72-0330

不要なボンベは ありませんか？

- ★古いボンベがあり、処分に困っている。
- ★もうガスを使わないので処分したい。
- ★放置されているボンベを見かけたことがある。

こんな方はぜひLPGセンターまで
ご連絡ください。



- ・ガスボンベには使用期限があり、
期限切れには注意が必要です。
- ・雨ざらしのボンベは腐食により、
ガス漏れの危険もあります。

廃棄料金（税込み）	
LPGセンターまで持込みの場合	380円
出張にて引取りの場合	1,480円

JAしまね島根おち地区本部 LPGセンター
☎ 0855-95-0362

法要ギフトは JA花かご館へ

○ご返礼に最適な
商品を多数掲載

○弔事のご返礼は
JA花かご館に
お任せください。



—— お問い合わせ・ご相談は ——

瑞穂事業所 ☎ 83-1134
羽須美事業所 ☎ 88-0121
石見事業所 ☎ 95-1224
川本事業所 ☎ 72-0330
邑智事業所 ☎ 75-1861
大和事業所 ☎ 82-2557
桜江事業所 ☎ 92-8025

フクフク

8月

シサン
ウンヨウ



年金運用の結果発表



私たちの公的年金の一部は「GPIF※」と呼ばれる組織が運用しています。
 そのGPIFが先日、2022年の運用状況を公表しました。
 その結果は収益率+1.50%(年率)と、見事な黒字の運用成果を残しました！

2022年はロシアのウクライナ侵攻など世界情勢が不安定な年でした。そんな中、GPIFはどのように黒字運用を行ったのか、確認してみましょう。

※GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)……国民年金と厚生年金の積立金を管理・運用している公的機関



GPIFは分散して投資をおこなっています



国内外のさまざまな種類の資産に分けて投資することで、大きな損失が発生する可能性を抑える効果が期待できます。

※出所:年金積立金管理運用独立行政法人パンフレット GPIFって、なに?

GPIFは長期の投資をおこなっています

様々な資産を長期にわたって持ち続ける「長期運用」によって、**安定的な収益を得る**ことを目指しています。



運用に絶対はありませんが、GPIFのようにルールを守った運用を行えば、損失の可能性を抑えて、安定的な収益を期待することができます。

JAにはこうした運用相談の専門職員がいます。
 すこしでも運用に「興味があるな」「話を聞いてみようかな」と思っていたら、一度JAへご相談ください!!

【お問い合わせ先】JAしまね 瑞穂支店 **(0855) 83-1131**
 もしくはお近くのJA各支店へ…



※この記事は、投資知識の普及啓発を目的としたものであり、特定の商品の売買の勧誘を目的としたものではありません。

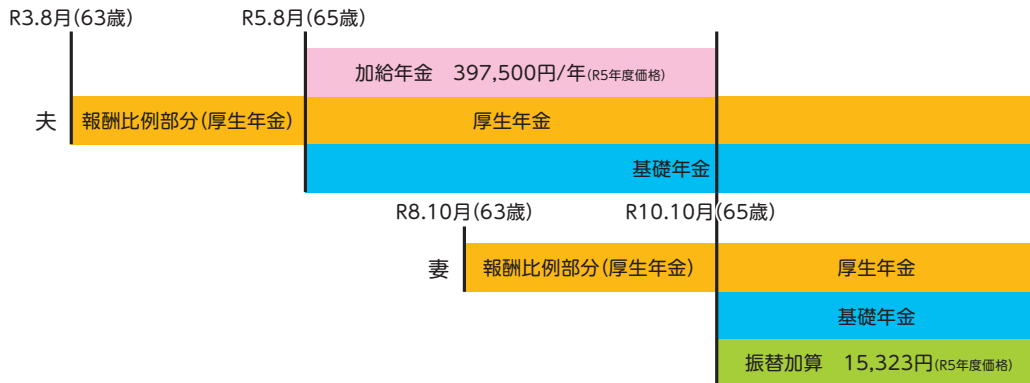
年金びより

加給年金ってなに？

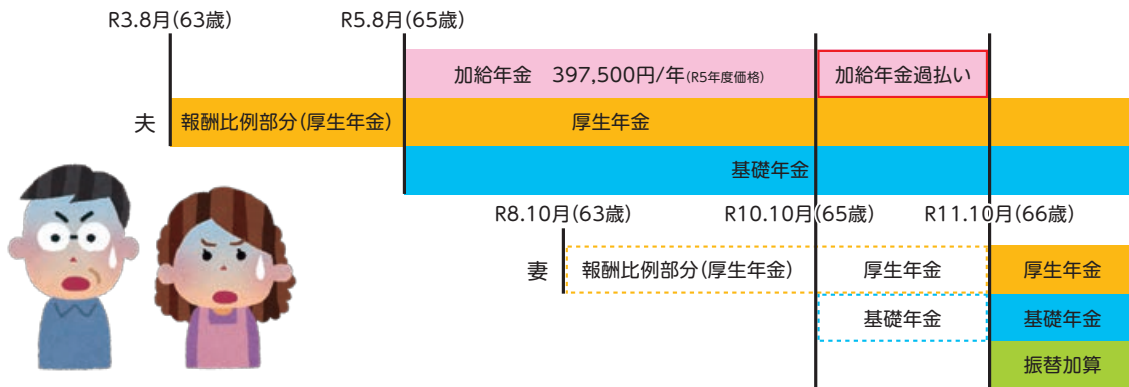


- ★20年以上のお勤めがあり、生計同一65歳以下の配偶者・子(18歳未満、障がいのある子は20歳未満)がおられる方が65歳になるとついてくる年金です。
- ★生計同一の配偶者が65歳になられると加給年金は加算年金となり、**振替加算**(S40年度生の方まで)が配偶者につきます。(配偶者が20年以上のお勤めがある時は、報酬比例部分の受給権が発生したら、加給年金は加算終了です。(振替加算はありません))

例1 夫(S33.8.2生・お勤め20年以上) 妻(S38.10.31生・お勤め20年なし)



例2 例1と同じ方で、妻が繰下げると年金額が増えると聞いたので、66歳まで請求しなかった場合



妻が年金の請求手続きをしなかったため、**加給年金の過払い**が発生しました。

過払い分は、必ず返金しなければなりません。

例2の場合だと1年分の**397,500円**の返金です。(R5年度価格)

もし、5年請求をしていなかったら、**1,987,500円**の返金です。(R5年度価格)

そういった事態を防ぐためにも、**年金受給開始前には、ご夫婦そろって年金相談をおすすめします!**

9月号は、繰下げについてです。



9月年金相談会 桜江支店 9月16日(土) 9:00~12:00

年金に関する疑問・質問は
お気軽にご相談ください

JALしまね 島根おおち統括支店 金融課 TEL.0855-83-1803

9月の行事予定



9月**20**日(水) ゆとり倶楽部
「グラスアート」

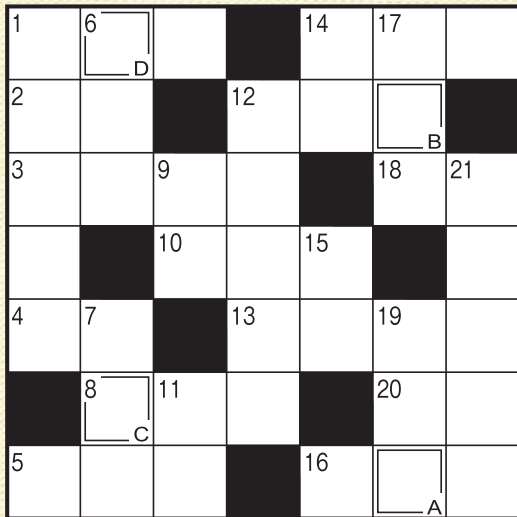
9月**26**日(火) いも掘り交流会

9月の外勤日 16日(土)・19日(火)・20日(水)



二重マスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え

A	B	C	D
---	---	---	---

タテのカギ

- ①ボンベを担いで——ダイビングを楽しんだ
- ⑥アンダー——の左腕投手
- ⑦収穫期の田んぼで金色に輝きます
- ⑨陶磁器はこの中で焼き上げられます
- ⑪——に敬老の日のプレゼントをもらった
- ⑫「ギイー、チョン」と鳴く虫
- ⑭陽（よう）の反対語
- ⑮汁物をよそう食器の1つ
- ⑰十五夜に楽しむもの
- ⑰ピラフにホワイトソースをかけて焼いたもの
- ⑳父と母のこと

ヨコのカギ

- ①十五夜に飾る植物
- ②帰り道のこと
- ③葉はコアラの餌になります
- ④2の3——は6
- ⑤必要以上に子どもを甘やかすこと
- ⑧糞（あつもの）に懲りて——を吹く
- ⑩発車——の新幹線に何とか乗り込んだ
- ⑫奈良や和歌山がある地域
- ⑬漢字で書くと竜胆。青紫色の花を咲かせます
- ⑭台風——、よく晴れたね
- ⑯吉永小百合さんの場合はサユリスト
- ⑰ml、mgの「m」
- ⑳お金を借りると付くことも

応募要項

● 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

● 賞品

正解者の中から抽選で40名（J Aしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

● 当選者発表

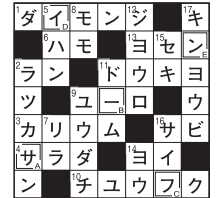
賞品の発送をもってかえさせていただきます。

● 宛先・締切

〒696-0222 邑智郡邑南町下田所277
J Aしまね 島根おおち地区本部 総務課 「クイズ」係
2023年9月1日（金）（当日消印有効）

◆ 先月号の答え ◆

「サーフィン」



川柳の広場

最優秀賞

人生の添え木となつてくれる趣味

出雲市 北村 功様

優秀賞

ありがとう感謝で生きる老い二人

隠岐の島 上川 晃一様

佳作

夏陽射す老いも顔手に日焼け止め

浜田市 沖田 邦子様

捨てる事覚えて肩が軽くなる
奥出雲町 堀江 英子様
老いてから妻との時間愛おしい
江津市 山形ゆうき様
店頭のソーメン夏を連れて来た
出雲市 多久和敬子様
おらが春寅年七回恙無く
邑南町 渡辺 里枝様
駆け足で望まぬ老いがやって来る
江津市 湯浅志津子様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」9月号定価 922円
ご購入はお近くのJAへお問合せください。



J Aしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）9月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、メールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、J Aしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先
〒690-0887 松江市殿町19-1
J Aしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
F A X : 0852-67-7708
Eメール : fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

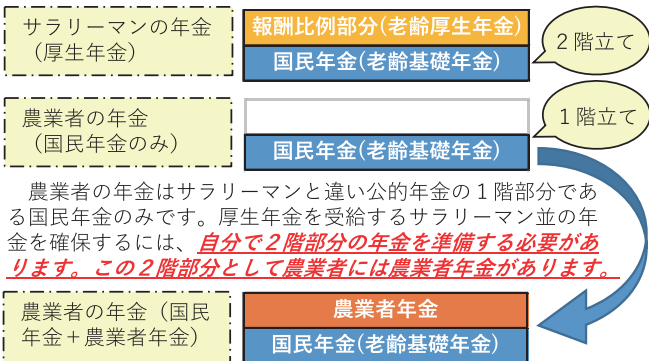


・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

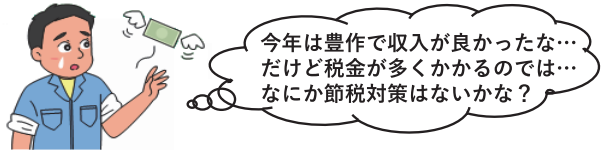
知らないで損！ 農業者年金の税金対策と保険料補助



まず農業者年金ってなに？



農業者年金は支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象です。



前納すれば翌年1年間の保険料も **全額社会保険料控除** に使える！

生計を一にする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、その合計額 (最高保険料6万7千円の場合は3人分で24万1千2百円) が経営主の所得から控除できます。

農業者の担い手には、保険料の国庫補助があります。

保険料の国庫補助 を受けるには…

国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、

- **39歳までに加入**
- **農業所得が900万円以下**
- **下記の農業者の担い手要件** を満たせば受けられます。

- ① 認定農業者で青色申告をしている人
- ② 認定新規就農者で青色申告している人
- ③ ①または②の要件を満たす経営主と家族経営協定を締結して経営に参画している配偶者、後継者 など

↓
月額最大1万円の保険料補助

詳しい内容のお問合せは…

お近くの農業委員会・JAへ！！

でも…加入する条件があるんでしょ？

農業者年金 へは…



ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査

ハチ駆除

近寄らず、触らず!!
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

**最寄りのJA各支店に
お問い合わせください**

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

Kodama 株式会社 コダマサイエンス

- 本社 / 島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852
- 松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■ 出雲営業所 / ☎0853-31-9600
- 益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■ 江津出張所 / ☎0855-52-6852
- 隠岐営業所 / ☎08512-2-2471



本誌は地球環境に優しい植物油インクを使用しております。



夏野菜と魚のポン酢和え



コメント

- ・夏野菜をたっぷり使用した主菜です。
- ・調味料はポン酢だけ！さっぱりとした味は、暑い夏にぴったりです。

アレンジ

- ・南瓜、ピーマン、ゴーヤ、レンコン、さつまいも、人参、ごぼうなどに替えても美味しくできます。
- ・魚を豚肉や鶏肉、牛肉、厚揚げに替えてもOKです！

材料（4人分）

- 魚（写真は飛魚）……………2尾
- 塩こしょう……………少々
- 小麦粉……………大さじ1
- ごま油……………小さじ2
- 茄子……………2本（約300g）
- トマト……………1個（約150g）
- ズッキーニ（黄）……………1本（200g）
- ポン酢……………大さじ3
- 青しそ……………4～5枚

作り方

- ①魚は3枚におろして3等分にし、塩こしょうをふって小麦粉を薄くまんべなくまぶす。
- ②フライパンを熱し、ごま油を入れ、①の魚を火が通るまでしっかりと焼き、ボウルに入れる。
- ③茄子は皮をむいて一口大の乱切りにし、耐熱皿に乗せて軽くラップをして、レンジ（600w）に5分間かけて火を通す。
- ④ズッキーニは5mmの厚さに切り、フライパンで素焼きにする。
- ⑤トマトは2cm角に切る。
- ⑥準備した茄子、ズッキーニ、トマトを②のボウルに入れ、ポン酢を加えて大きく混ぜ合わせる。
- ⑦皿に盛り、せん切りにした青しそを添える。

材料（4人分）

- そうめん……………4束（200g）
- きゅうり……………2本
- 人参……………1/2本
- 玉ねぎ……………1/2個
- ハム……………4枚
- とうもろこし……………50g
- マヨネーズ……………大さじ8
- 顆粒コンソメ……………小さじ2
- 塩……………少々
- こしょう……………少々

作り方

- ①そうめんはたっぷりのお湯で表示通りに茹で、冷水に取ってザルにあげ、水気をしっかりときる。
- ②きゅうりは3mmの厚さの輪切りにし、塩を少々ふってしんなりとさせ、水気を絞る。
- ③人参は斜め薄切りにしてから細せん切りにする。（軟らかく仕上げたい時は、下茹でする。）
- ④玉ねぎは薄切りにして水にさらし、水気を絞る。
- ⑤ハムは半分に切って、細切りにする。
- ⑥ボウルに準備した材料（とうもろこしを含む）を全部入れ、マヨネーズと顆粒コンソメを加えて和え、最後に塩とこしょうで味を整える。

サラダそうめん



アレンジ

- ・ゴーヤ、ズッキーニ、トマト、わかめなどいろいろな食材に替えても美味しくできます。
- ・ハムは、焼き豚や竹輪、ツナ缶、カニかまぼこなどに替えても楽しめます。

コメント

- ・サラダそうめんは、野菜もたっぷり！柔らかな食感でパスタより食べやすいです。
- ・食卓でしようゆを少々かけて食べると、ご飯のおかずにもパッチリ！
- ・おかずの一品にする場合は、材料を半分量にするとちょうど良くなります。

健康散歩

JA島根厚生連

夏の睡眠

夏の夜、暑さで寝苦しくて眠れない、途中で目が覚めてしまうという経験はありませんか？睡眠には心身の疲労を回復する働きがありますが、睡眠不足や睡眠の質に関する問題は、心身の健康に影響を及ぼすだけではなく、本人の自覚がないまま集中力や記憶力の低下が起こるため、日常生活でもケアレスミスが多くなってしまいます。

寝苦しい夏の夜でも睡眠がとれるようにポイントをあげていますので試してみてください。



～夏の快適な睡眠へのポイント～

1. 睡眠環境を整える

室温26～28℃前後、湿度50～60%が睡眠のうえで最適な室内環境と言われています。エアコンの冷房機能だけでなく除湿機能も使いましょう。扇風機も併用するとよいでしょう。

2. 眠る1～2時間前にぬるめのお湯（38.0℃程度）で入浴する

入浴することで熱の放散が盛んになり、深部体温（脳や内臓など体の内部温度）が下がることで入眠しやすくなります。



3. 寝具や寝衣を調節する

寝具は吸湿性と肌触りのよい竹や麻などの自然素材のものや、接触冷感素材のものを使用するとよいでしょう。寝衣は半袖、半ズボンであると手首や足首に直接冷気があたり、体を冷やしすぎてしまう場合があるので、ゆったりとした長袖・長ズボンが理想的です。



快適な睡眠がとれるよう、できることから取り入れて、熱い夏を元気に過ごしましょう。

【編集後記】 うだるような暑さが続いているですが、そんな日こそ夏野菜たっぷりのカレーが食べたくなる今日この頃です◎夏野菜といえばトマトやナスなどですが、ピーマンは2つに切って氷水にひと晩漬けておくと、パリパリのおいしいピーマンに変身するのだとか（ネット情報）。今年は家庭菜園でピーマンを育てているのでやってみたいな～と思います…！皆さんも野菜のおいしい食べ方を知っていたらぜひ教えてください◎（古）